

## <様式1>

# 令和3年度 さいたま市立浦和別所小学校 自己評価書

校長 小野寺 智夫

## 1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 確かな学力の向上を図り、豊かな心と健やかな体、豊かなかかわり合いをはぐくむために、特色ある教育活動に取り組む。 －各教科等の授業の状況
- (2) 「礼を正し、場を清め、時を守る」を学校生活の基本とし、師弟同行の精神で児童の人格形成にあたる。 －いじめ防止等の状況、生徒指導の状況、教育相談の状況
- (3) 全教職員の共通理解と協力体制を確立するとともに、教職員の資質や指導力の向上をめざして研修を積極的に推進し、成果を日々の指導に生かす。 －校内研修の状況
- (4) 校舎内外の学習環境を整えるとともに、家庭、地域社会、関係機関等と連携して教育を推進し、開かれた学校づくりに努める。  
－児童の安全の状況、家庭・地域・関係機関との関わりの状況

## 2 評価結果について

- ・12月実施学校評価児童アンケート「授業の内容はよくわかります」の肯定的回答は、97%であった。(令和2年度96%)
- ・12月実施学校評価「楽しく学校生活を送っている」の項目における肯定的回答は、保護者97%(令和2年度98%)、児童94%(令和2年度92%)であった。
- ・児童会による「あいさつ運動」、「廊下歩行キャンペーン」、今月の生活目標を基にした学級目標決め等の取組により、児童に自己有用感をもたせ、自己指導の能力の助長を援助する積極的な生徒指導を行った。
- ・SC、SSWの来校日に教育相談日を設定し、保護者からの面談を充実することができた。
- ・学校課題研究では、年間を通して、指導者を招聘し、講演会や研究授業を通しての研究協議会を実施し、教員の指導力向上につなげることができた。また、授業改善に意欲的に取り組む教員の姿が見られた。
- ・学校運営協議会準備委員会を学期に1回開催し、「熟議」を「安全な登下校のための持続的・具体的な取組について」として協議を進めることができた。

## 3 次年度に向けた具体的な改善策について

- ・心と生活のアンケート等を活用して、児童に寄り添う指導や面談等の校内支援体制を充実させ、SC、SSW、関係機関等と連携した改善に、継続して努めていく。
- ・児童の安全な登下校のための持続的・具体的な取組について、PTAや地域等と協力して継続的に努めていく。